

- 問1 日本の一般会計歳出のうち、全体の約24.3パーセントを占め、社会保障関係費に次いで2番目に支出が多い「国債費」の内容について正しく説明しているものを選択してください。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
1. 自衛隊の維持や日本の防衛力を高めるために使われる費用

2. 地方自治体の財政力の格差をなくするために国から配分される費用

3. 国が借りた借金である公債の元金払いと利子の支払いに充てられる費用

4. 道路や橋、ダムなどのインフラを整備するために投入される費用
- 問2 大規模な火山の噴火に備え、火口から噴出した溶岩流が到達すると予測される範囲や、到達までにかかる時間を地図上に示したものがあります。このような、自然災害による被害を予測し、円滑な避難や防災対策に役立てるために作成される地図を何といいますか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 都市計画を定めた用途地域図

2. 国土地理院発行の地形図

3. 植生の変化を示した相観図

4. ハザードマップ（被害予測地図）
- 問3 13世紀の鎌倉幕府において、3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 足利尊氏による新しい幕府の開設に備え、幕府の権威を全国の守護や地頭に改めて示す必要があった。

2. 文永の役で元軍が襲来した際、恩賞を求めて不満を持つ御家人をなだめるため、徳政令の一環として制定された。

3. 承久の乱の後、幕府の支配が西日本まで及び、御家人らの土地をめぐる紛争が増加したため、公平な裁判の基準を設ける必要があった。

4. 朝廷が定めた律令制度を強化し、公家と武士が共同で政治を行うための共通のルールを確立することが求められた。
- 問4 ジョン・ロックが唱えた社会契約説の考え方に基づき、国民が「抵抗権」を行使することが認められる状況を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 国民が直接政治に参加する直接民主制を実現するために、議会による間接民主制を廃止しようとするとき

2. 政府が国民から信託された目的である「生命・自由・財産の保護」に反し、国民の権利を侵害したとき

3. 国王の権力は神から授けられたものであり、国民がその絶対的な支配に対して異議を唱えようとするとき

4. 国家の権力を立法・行政・司法の三つに分散させ、それぞれの機関が互いに抑制し合う仕組みを構築するとき
- 問5 弥生時代の遺跡からは、青銅器と鉄器という二種類の金属器が発見されています。鉄器が農具の刃先として普及したことが、当時の社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 農具が重くなったことで、小規模な家族単位での農業が不可能になった。

2. 土地の開墾や耕作が容易になり、食料である米の生産力が向上した。

3. 青銅器よりも希少価値が高かったため、王の権威を示すための宝物としてのみ扱われた。

4. 石器に比べて加工が簡単だったため、各家庭で容易に自給できるようになった。
- 問6 1人当たりの国内総生産（GDP）が高い地域と、低い地域における水資源の用途別利用状況について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 1人当たりの国内総生産が世界で最も高い北アメリカは、高度な節水技術が普及しているため、1人当たりの取水量は世界で最も少なくなっている。

2. 国内総生産が高い地域は食料自給を優先するため農業用の取水割合が最も高く、経済発展が遅れている地域ほど工業用の取水割合が高くなっている。

3. 経済発展の度合いに関わらず、世界のすべての州において、農業用の取水量が全体の9割以上を占めるという共通点がある。

4. 経済的に豊かな地域ほど工業用や生活用の取水割合が高い傾向にあり、国内総生産が最小のアフリカでは農業用の取水が約85パーセントを占めている。
- 問7 室町時代に行われた日明貿易が、当時の日本の社会や経済に与えた影響について説明した文として最も適切なものを、次の中から選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 明から輸入した刀剣が武士の間で流行したことで、日本独自の製鉄技術である「たたら製鉄」が途絶える原因となった。

2. 日本から明へ生糸を大量に輸出することで、国内の養蚕業が衰退し、農業の構造が大きく変化した。

3. 明から大量の銅銭が流入したことで、年貢を銭で納める「銭納」が広まるなど、貨幣経済が浸透する背景となった。

4. 明から輸入した硫黄を原料として鉄砲が大量生産されるようになり、戦国時代の合戦の形態を大きく変えた。
- 問8 日本の食料事情に関して、国内で消費される食料全体のうち、国内生産によってどの程度まかなわれているかを示す指標を何といいますか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 地産地消率

2. 食料自給率

3. 食料依存率

4. 自給自足率
- 問9 日本や欧米諸国を含むOECD（経済協力開発機構）加盟国の多くで見られる、男女の労働時間の傾向について説明した文章として、最も適切なものはどれか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 男性は賃金の発生する有償労働に従事する時間が女性より長く、女性は家事や育児などの無償労働に従事する時間が男性より長い。

2. 男性の無償労働の時間は有償労働の時間よりも長く、女性の有償労働の時間は無償労働の時間よりも長い傾向にある。

3. 先進国においては男女共同参画が進んでいるため、有償労働と無償労働のいずれの時間においても男女差はほとんど見られない。

4. 女性は企業などで働く有償労働の時間が男性よりも長く、男性はボランティアや家事などの無償労働の時間が女性よりも長い。
- 問10 日本の社会保障制度は、税や社会保険料として集めた資金を、年金や医療などの給付として支払うことで、国民の生活を安定させる役割を担っています。このような、特定の個人や世帯から別の個人や世帯へ所得を移転させることで、経済的な格差を縮小させる仕組みを何と呼びますか。また、その仕組みがもたらす効果として適切な説明を選んでください。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 一律給付と呼び、全世帯に同じ金額を配ることで消費を拡大させる効果がある。

2. 累進課税と呼び、低所得者の納税額を増やすことで国の財政を安定させる効果がある。

3. 経済活性化と呼び、高所得者の貯蓄を投資に回すことで景気を浮揚させる効果がある。

4. 所得再分配と呼び、当初所得における年齢層ごとの格差を是正する効果がある。
- 問11 日本の近代国家形成の過程において、初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文の経歴や役割を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
1. 天草や神戸など各地の開港を主張し、慶應義塾を創設して『学問のすめ』を著した。

2. 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。

3. 明治政府の初代内務卿として権力を握り、学制や徴兵令、地租改正を主導して富国強兵を進めた。

4. 土佐藩出身の政治家として、民権運動の組織化を推進し、自由民権運動を組織した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 国が借りた借金である公債の元金払いと利子の支払いに充てられる費用	日本は税收だけでは歳出をまかなえず、不足分を「公債（国債）」の発行による借金で補っています。その結果、過去の借金の払い戻しや利子の支払いに充てられる「国債費」が歳出全体の約4分の1という高い割合を占めるようになり、新しい政策に予算を回しにくい財政の硬直化を招いています。
問2	答え 4 ハザードマップ（被害予測地図）	火山の噴火だけでなく、地震、洪水、土砂災害などの自然災害が発生した際に、被害が及ぶ範囲や程度を予測して地図化したものをハザードマップと呼びます。これには避難場所や避難経路、防災機関などの情報も記載されており、住民の迅速な避難や、行政による防災対策の策定に不可欠な資料となっています。
問3	答え 3 承久の乱の後、幕府の支配が西日本まで及び、御家人らの土地をめぐる紛争が増加したため、公平な裁判の基準を設ける必要があった。	1221年の承久の乱に勝利したことで、鎌倉幕府の支配力は西日本まで拡大しました。これにより地頭と御家人の間などで領地をめぐる争いが急増したため、1232年に北条泰時は、武社会の慣習に基づいた公平な裁判を行うための指針として御成敗式目を定めました。文永の役（元寇）は1274年の出来事であり、時代が異なります。
問4	答え 2 政府が国民から信託された目的である「生命・自由・財産の保護」に反し、国民の権利を侵害したとき	ロックは、人間はもともと自然権を持っているが、それをより確実に守るために、契約によって政治社会を作り、権力を政府に「信託」したと考えた。そのため、政府が国民の権利を奪うような暴政を行った場合には、国民には契約を解除して政府を代える権利（抵抗権・革命権）があるとした。これは、権力を制限し国民の権利を守る近代立憲主義の重要な論理となった。
問5	答え 2 土地の開墾や耕作が容易になり、食料である米の生産力が向上した。	鉄は青銅よりも非常に硬いため、木製の農具の先端に装着することで、硬い土を掘り起こしたり森林を切り拓いたりすることが可能になりました。これにより耕作面積が拡大し、農業の生産性が飛躍的に高まりました。一方、祭祀用として重宝されたのは、鉄器ではなく主に青銅器（銅鏡や銅鐸など）の方でした。
問6	答え 4 経済的に豊かな地域ほど工業用や生活用の取水割合が高い傾向にあり、国内総生産が最小のアフリカでは農業用の取水が約85パーセントを占めている。	経済発展が進んでいる地域では、製造業などの産業活動や都市部での快適な生活を維持するために、工業用や生活用の水が大量に必要となります。統計上、1人当たりの国内総生産（GDP）の上位3州は、工業用・生活用の取水量でも上位に一致しています。一方で、アフリカなどの経済発展が途上にある地域では、産業の基盤が農業にあるため、取水量の大部分が農業用に充てられる傾向があります。
問7	答え 3 明から大量の銅銭が流入したことで、年貢を銭で納める「銭納」が広まるなど、貨幣経済が浸透する背景となった。	日明貿易によって明からもたらされた銅銭は、日本国内の商取引を活性化させました。その影響は農村にも及び、年貢を米ではなく貨幣で納める「銭納」という仕組みが一般化するなど、日本の社会構造が貨幣を中心とした経済へと移行する大きなきっかけとなりました。生糸は明からの輸入品であり、硫黄や刀剣は日本からの輸出品であるため、他の選択肢は誤りです。
問8	答え 2 食料自給率	日本の食料供給能力を把握するために用いられる指標です。国内で消費された食料のうち、国内での生産が占める割合を指します。日本のカロリーベースでの割合は、1960年度の73%から、近年では40%を割り込む水準まで低下しており、食料安全保障の観点からも重要な課題となっています。
問9	答え 1 男性は賃金の発生する有償労働に従事する時間が女性より長く、女性は家事や育児などの無償労働に従事する時間が男性より長い。	OECD諸国の統計では、いずれの国においても男性は仕事などの「有償労働」の時間が長く、女性は家事・育児・介護といった「無償労働」の時間が長いという傾向が共通して見られます。これは社会全体で「男性は外で働き、女性は家庭を守る」といった性別役割分業の意識が根強く残っていることや、雇用形態の差などが背景にあります。
問10	答え 4 所得再分配と呼び、当初所得における年齢層ごとの格差を是正する効果がある。	社会保障には、所得税の累進課税制度や社会保険料の徴収を通じて、高所得層から低所得層へ、あるいは現役世代から高齢者層へと所得を移転させる「所得再分配」の機能があります。これにより、賃金などの「当初所得」の段階で見られる大きな格差が、社会保障給付後の「再分配所得」では小さくなり、社会全体の公平性が保たれます。
問11	答え 2 神戸税関の前身である兵庫運上所の長官を経験し、後に内閣制度を創設して初代首相となった。	明治初期の地方官としてのキャリアにおいて、兵庫県知事や兵庫運上所の長官を務め、海外との貿易や外交の実務に深く関わりました。この経験が後の条約改正交渉や、近代的な政治制度の構築に活かされています。他の選択肢にある大久保利通（内務卿）や福沢諭吉（慶應義塾創設）、板垣退助（自由民権運動）といった同時代の重要人物と、その具体的な功績や出身を区別して理解することが重要です。